

2025年3月11日

株式会社三菱UFJ銀行

キャリア形成とライフイベントの両立支援の拡充 （「卵子凍結・不妊治療費用補助」の導入、「MUFG 子育て塾」の開催）について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下 当行）は、従業員一人ひとりが、自身が望むキャリアプランとライフプランを両立させ、自身の強みを最大限に発揮できる環境づくりを進めています。その一環として、「卵子凍結・不妊治療の費用補助」と「働く女性のための健康維持・妊活支援サービス」の導入を決定するとともに、従業員がパートナーと育児両立を考える「MUFG 子育て塾」を開催しました。

1. キャリア形成とライフイベントの両立支援の拡充の背景

当行は、全てのステークホルダーが新たなステージへ進むチカラとなるため、多様な価値観やバックグラウンドを持つ従業員が、ライフステージや性別などに関わらず、持続的に成長、活躍できる環境づくりに取り組んでいます。

なかでも、従業員の約6割を占める女性の活躍支援を強化しており、2023年からは、約1,750人の産休・育休取得者の復帰や、仕事と育児との両立をサポートする復職サポートプログラム「パレット」(※)を提供しています。

そして、従業員のさらなる活躍には、キャリア観や人生観の多様化、パートナーとの家事や育児等の役割分担の考え方の変化、不妊の検査・治療を行う夫婦の増加、女性特有の健康課題が女性の就業に与える影響を考慮することが不可欠と考えています。当行は、従業員がキャリア形成やライフプランを考えるうえでの選択肢の拡大、仕事と育児を両立しやすい環境づくり、健康の維持・増進への支援をつうじて、従業員が持続的に成長し、活躍するチカラとなります。

(※) 2024年10月23日 当行ニュースリリース『[産休・育休からの復職サポートプログラム「パレット」のHRアワード2024「企業人事部門」優秀賞の受賞について](#)』

2. 卵子凍結・不妊治療費用補助制度「イーゼル」

(1) 卵子凍結費用補助

妊娠・出産しやすいとされる年齢は、キャリア形成においても、業務を広げ、スキル・専門性を深める重要な時期にもあたり、当行は、女性従業員本人、組織・職場、キャリア支援、両立支援の観点から、柔軟な働き方を可能とする制度などを提供しています。自身が希望するライフプランとキャリアプランの両立にあたって、従業員の選択肢を広げることを目的に、39歳以下（2028年度以降は34歳以下）の女性行員等が、卵子凍結を行うクリニックに支払う採卵・凍結費用を、40万円を上限に補助します。

(2) 不妊治療費用補助

当行は、柔軟な勤務制度や関連情報の提供などにより、不妊治療と両立する従業員を支援しており、「プラチナくるみんプラス」の認定を取得しています。不妊の検査・治療経験のある夫婦は 4.4 組に 1 組（※）と、より身近なものになっていることを踏まえ、行員等とその配偶者が行う特定不妊治療のうち、公的医療保険制度の給付の対象とならない治療の費用を、一律 10 万円補助します。

（※）国立社会保障・人口問題研究所「第 16 回（2021 年）出生動向基本調査」

(3) 妊娠やプレコンセプションケアに関するセミナーの開催

卵子凍結や不妊治療、プレコンセプションケア（※）に関する理解を深め、自身が望むキャリアプランとライフプランの両立を考える機会となるよう、また、両立に取り組む共に働く仲間や家族のチカラになれるよう、産婦人科専門医による従業員向けセミナーを 3 月 5 日に開催しました。

（※）将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと

(4) 当行内制度名称「イーゼル」

絵画を描くキャンバスを支えるイーゼル（画架）のように、本プログラムが、従業員が自身のキャリアや人生を自由に描く「支え」になることをめざしています。

3. 働く女性のための健康維持・妊活支援サービス「Grace Care」の導入

(1) 背景

経済産業省によると、女性特有の健康課題が業務効率や就業継続を通じて与える社会全体の経済損失は年間約 3.4 兆円と推計されています。（※）また、従業員の 6 割を占める女性が本来の力を十分に発揮できないことは、当行にとって対応すべき課題であることから、女性の健康維持や妊活支援のサービス「Grace Care」を導入します。

（※）経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」

(2) 内容

「Grace Care」は、株式会社グレイスグループが提供する、働く女性が自分の身体についての知識を身に付け、必要なケアを行うことをサポートするサービスです。婦人科かかりつけ医の紹介や対面診療・オンライン診療を通じ、婦人科疾患の早期発見や、低用量ピルや漢方の処方による月経随伴症の影響の軽減が期待でき、女性従業員の活躍支援につながるものです。

4. パートナー参加型セミナー「MUFG 子育て塾」

(1) 背景

日本は性別による役割分担意識が残るといわれる一方で、「共働き・子育て」を行う従業員や、男女ともに仕事も家事・育児等もパートナーと分担したいと考える人々が増加しています。性別に関係なく仕事と家事・育児を両立できる環境づくりには、従業員のパートナーとの相互理解・協力が必要であるため、パートナーとともに「子育て」について学ぶセミナーを、3 月 9 日に開催しました。

(2) 内容

当行に加え、MUFG グループの三菱 UFJ 信託銀行、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券に所属する、妊娠中もしくは3歳以下の子どもを持つ従業員を対象に参加を募り、約100組の従業員とパートナーが参加しました。セミナーでは、外部講師による講演を踏まえ、パートナーと子育てについてのワークを行った後、子育てを実践するMUFGグループ社員による座談会を実施しました。

5. MUFGの人的資本経営の取り組み

MUFGは、2024年度からの中期経営計画にて、「成長戦略の進化」「社会課題の解決」「企業変革の加速」を3本柱に据え、パーパス「世界が進むチカラになる。」の実現をめざしています。導入を決定した各種両立支援は、「企業変革の加速」における「人的資本の拡充」の取り組みであり、「社会課題の解決」における優先課題「少子高齢化への対応」と「人的資本重視の経営」にも繋がるものです。

MUFGの人的資本経営では、従業員の活躍の土台となる「健康経営」「DEI推進」(※)や「エンゲージメント向上」「プロ度追求」に取り組んでいます。それにより、従業員のウェルビーイング、中長期的な人生の充実を実現し、「事業競争力の強化」、「『挑戦とスピード』のカルチャー醸成」を進め、社員一人ひとりが生き活きと活躍し、社会・お客さまに貢献するグローバル金融グループとなることをめざしています。

引き続き、当行は、各種両立支援を含む人的資本投資を通じて、従業員一人ひとりがライフステージや性別に関わらず活躍し、パーパスを体現できる組織づくりに取り組んでまいります。

(※) ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン



以上